



子どもの森づくり通信

(発行：NPO法人子どもの森づくり推進ネットワーク)

JP子どもの森づくり運動
参加園月例会報
(2016年10月号)

〒146-0082 東京都大田区池上1-3-4 tel:03-5755-3213 fax:03-5755-3081
<http://www.kodomonono-mori.net> <mailto:info@kodomonono-mori.net>

「J」P子どもの森づくり運動」とご縁をさせていただいた方々に、
活動情報をお送りさせていただいております。ご意見など賜れば幸いです。



今月も、鳥取県中部を震源とする地震災害が発生しました。
被害に会われた方には、心よりお見舞い申し上げます。
自然災害が全国的に頻発する中、今月号では、あらためて防災対策のご提案です。
(* 写真：岩手県山田町に植えられた“どんぐり”の苗木)

(目次)

1. 【ご提案！】防災研修会開催と「災害時相互支援協力協定」締結
2. JP子どもの森づくり運動「東北復興グリーンウェイブ」活動レポート
3. 事務局からのお知らせ
 - 新・どんぐり博士の育苗講座 (2016年10月号)

■「J」P子どもの森づくり運動」とは

今、子どもたちは、高度な情報化社会の中でバーチャルな環境に取り囲まれ、本物の自然体験活動から遠ざけられています。しかしながら、子どもたちは、変化に富んだ自然体験活動の中でこそ、五感を通じて豊かな感性や健全な環境意識、そして子ども本来の生きる力を育みます。「J」P子どもの森づくり運動」は、NPO法人子どもの森づくり推進ネットワーク（「子森ネット」）が「日本郵政グループ」との協働体制で、全国の幼稚園・保育園を拠点に、一貫した森づくり活動を通じて幼児期の子どもたちに自然体験活動と環境学習の場を提供しようという全国運動です。

■「J」P子どもの森づくり運動」運営体制

- ・運 営 : NPO法人子どもの森づくり推進ネットワーク（「子森ネット」）
- ・特別協賛 : 日本郵政グループ
- ・後援/協力

(公社) 全国私立保育園連盟	(公社) 大谷保育協会
(公社) 国土緑化推進機構	NPO法人C・C・C 富良野自然塾
(一社) 日本森林インストラクター協会	NPO法人自然体験活動推進協議会
NPO法人MORIMORI ネットワーク	(一社) 日本オート・キャンプ協会
(株) 実業之日本社 月刊ガルヴィ編集部	保育環境研究所ギビングツリー



1. 【ご提案！】防災研修会開催と「災害時相互支援協力協定」締結

「東日本大震災」につづく「熊本地震」、さらに鳥取県中部を震源とする地震と、日本列島では大きな地震災害が続いています。また、異常気象による豪雨や土砂災害も全国的に頻発しており、保育園、幼稚園、こども園における防災対策が問われています。JP子どもの森づくり運動では、参加園における自然体験と環境学習活動をサポートすると共に、防災に関してもこれまでいくつかのサポート企画を提案してまいりました。上記の状況を考えるとき、今や園における実効性ある防災対策が急がれると考え、あらためてご提案させていただきます。ご検討願います。

1) 災害を予防する取組み：防災研修会の開催

消防庁防災アドバイザー 鎌田修広氏による、「本当に子どもたちの命を守るため」をテーマとするリアルな防災講座です。鎌田講師の防災講座は、とにかく実践的です。講座のほとんどの時間、参加者はグループ単位でどうしたら子どもたちの命を守れるかを主体的に考え、徹底的にディスカッションすることで、様々な気づきを促されます。さらに、災害時にもっとも必要とされるチームに対する信頼感を育成するプログラムも実施されます。講座が終わる頃には、参加者全員が見事に一つのチームとしてまとまります。現在、事務局が主催するブロック単位の防災研修会を定期開催していますが、園単位の開催も可能です。開催をご希望される園におかれましては、事務局までお申し出下さい。



(講師)
タフジャパン代表 鎌田修広氏



防災講座開催風景①



防災講座開催風景②

2) 災害時の支援に関する取組み：災害時相互支援協力協定の締結

「子森ネット」が提案する、JP子どもの森づくり運動参加園ネットワークの中で構築される災害時の支援協力協定です。支援の関係は、比較的遠距離にある三園による「トライアングル」を基本とします。トライアングルの関係こそが、災害という非常時に、もっとも効率的に支援しやすい関係であるからです。一つの園が被災した際に、残りの二つの園が協力して支援にあたる関係が循環します。協定園については、申し込み園、個別にご相談させていただきます。

* 2016年2月に合意された「災害時相互支援協力協定」の第一号が、5月に開催された岩手県山田町の防災研修会においてお披露目されました。当日は、山田町第一保育所（岩手）、春明保育園（東京）、若久青い鳥保育園（福岡）の三つの園の園長、施設長、理事長が参加して、協定締結がお披露目されました。

(写真：協定お披露目風景)



* 2016年2月に合意された「災害時相互支援協力協定」は、今年4月に発生した「熊本地震」の際に早速機能しました。福岡の「若久青い鳥保育園」が拠点となり岩手の「山田町第一保育所」や東京の「春明保育園」から、素早い支援活動が行なわれました。(写真：支援物資を運ぶ山田町の子もたち)



2. JP子どもの森づくり運動「東北復興グリーンウェイブ」活動レポート

●静岡県「エンゼル幼稚園」 東北復興グリーンウェイブ「苗木を見送る会」

・日時：2016年5月13日（金）・場所：園庭

子ども達が苗木を大事に抱え、袋や段ボールに入れてくれました。この苗木が岩手に戻り、更に大きく成長してくれることを願ったり、苗木を通じて広がりを大切にしたいです。また、秋のどんぐり拾いなどの活動を通して木の実や葉っぱなど自然に興味を持てると良いです。（園レポート）



●滋賀県「崇徳保育園」 東北復興グリーンウェイブ「苗木を見送る会」

・日時：2016年5月17日（火）・場所：園庭 ・日本郵政グループ：豊郷郵便局へ持ち込み（写真は北澤局長）

スライド写真を使って津波の被害や、2年前の植え付け会の様子など、活動の説明と振り返りし、「♪どんぐりころころ」を3番まで熱唱。スライドの後は、いよいよ専用ダンボールに箱詰めです。11本の苗木が無事山田町に届くことを願いながら、「♪どんぐりえがお」も踊りました。二つのダンボールは、代表園児が地元の郵便局に届け、局長さんに現地までのリレーを託しました。なお、5月14日には見送る会に先がけ、「里帰り保育」で久々に保育園に来てくれた小学1年の卒園児にも、あらためてこの活動の意義を伝え、苗木を見てもらいました。（園レポート）



3. 事務局からのお知らせ

<「東北復興グリーンウェイブ」キャンペーンソング「♪どんぐりえがお」ビデオダンスコンテスト作品募集開始>

全国の保育園・幼稚園・こども園の子どもたちに、“どんぐり”と“えがお”の絆でつながろう！と呼びかける「東北復興グリーンウェイブ」キャンペーンソング「♪どんぐりえがお」のビデオ映像によるダンスコンテストを開催します。現在、コンテスト参加園を募集中です。優秀作品は、「エコプロ2016」のイベントステージにてご紹介させていただきます。ふるってご応募下さい。



* グランプリの副賞は、チェンソーカービング世界チャンピオン栗田宏武氏作のカービング作品です。(写真)

コンテスト開催概要

1. 主催：NPO法人子どもの森づくり推進ネットワーク（子森ネット）
2. 協力：全国私立保育園連盟、大谷保育協会、保育環境研究所「ギビングツリー」キッズステーション、他
3. 特別協賛：日本郵政グループ
4. 実施日
 - 1) ビデオ映像募集期間：2016年10月～11月21日（月）
 - 2) 審査結果発表会イベント実施日：2016年12月10日（土）10:30～11:45
5. 審査結果発表会会場
東京都江東区有明3-11-1 東京ビッグサイト「エコプロダクツ2016」イベントステージ
* コンテストへの参加お申込み、お問合せは、事務局までお願いします。

●新・どんぐり博士の育苗講座(2016年10月号) ～クルミとトチノキの実(種子)～

いつもどんぐりの話ばかりですが、どんぐりでなくとも可愛らしくて、植え付ければ芽を出し、苗に育てやすい木の実(種子)があります。そこで今回はどんぐりを離れ、そんな木の実の代表、クルミとトチノキの実(種子)を紹介します。どんぐり博士:河内和男(「子森ネット」森林インストラクター)



クルミの実は多分皆さんご存じだと思います。表面がしわしわで非常に堅い殻(から)に覆われ、3cm程度の大きさです。これはオニグルミの実です。トチノキの実は一般にトチの実と言われ、お菓子やお餅に使われたりする食用にも適した実です。見た目は栗に似ていますが、栗より丸く、栗より大きくなります。

クリの実はどんぐりの仲間です。しかしオニグルミとトチノキの実は似ているのですがどんぐりの仲間ではありません。その理由は、実が木についているとき、あの堅い実が果肉に覆われている果実だからです。その果実が地面に落ちると、果肉が裂けたりはがれたりして、堅い種子が現れます。地面に落ちた実を拾うと堅い種子を採取できます。

果実部分を取り除いたこの堅い実を、どんぐりと同じようにプランターやポットで、実を寝かせて植え付ければ、次の年の春に先端から発芽し苗へと生長します。果実の部分を取り除くこと以外は、本当にどんぐりと同じに育てられます。

最後に実の入手について。残念ながら、オニグルミとトチノキの実が熟して落ちるのは9月です。今年はまだ植え付けに適した種子の入手は難しいと思います。また、これらの木はどんぐりの木より見つけにくいです。両方とも川沿いで肥沃な土壌(自然豊かな場所)に生育します。身近にこれらの木があったなら、今度植え付けにも挑戦してください。